

今回は 数学科の授業改善報告 です。

◇ 研究授業

日 時：2024年2月2日（金）4限

対 象：1年5組（38名）

担 当：村上弘尚

科 目：数学Ⅱ

単 元：数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式

学習活動：

- ・3次方程式の解から係数や他の解を代入により求める。
- ・同様の問題に対して別の解法を考える。
- ・類似の問題について、元の問題との差異や、同様の解法が利用できるのか等について確認する。

◇ 研究授業の成果と今後の課題

【成 果】

今回新しく学ぶ、解を代入することによる解法や、因数定理を利用した文字式の割り算の余りから係数を求める解法についての生徒の理解はおおむね良好であった。

復習や問題演習の場面では、生徒同士での活発な活動が見られた。



【課 題】

$x^3 + 4x^2 + ax + b$ を $(x + 3)(x - 1)$ で割った余りを求める計算や、 $(1 - 2i)^3$ の計算など、今回の本質とは違った部分での生徒の躓きが多く、スムーズな進行はできなかった。そのため、計算を事前に示しておくことや、その計算だけ別個で確認しておくことなどの工夫が必要であると考えられる。

板書について、文字の大きさや色、構成などの面で見づらく要点が掴みにくい点が見つかった。今後は、特に構成を重点的に改善していく。

説明が必要以上に多く、逆に生徒の思考を阻害したり、説明が長くなってしまい十分な演習の時間が取れていなかったりしてしまっていた可能性がある。情報を取捨選択して、重要なものを説明に組み込む工夫も必要である。

全てを教えてしまうのではなく、自ら発見できるような発問を意識し、生徒たち自身による活動をより活発化させる工夫が必要である。